

だと知ることによつて、益嫉妬深くなる様な妙な結果を生ずるものです。青年近くなつて、自ら自分を内省し、自分の心の病氣のある處をよく知り得る様になつてからなら兎に角、幼児期に於ては、正面から之を矯さうとすることは六つかしいでせう。其の點に於て、他にまぎらせたり、成るべく無邪氣な子と遊ばせるといふ御實験は、至極く有益な御實験だと思ふのです。

○剛情で共同心の乏しき子

東京市坂本小學校
附屬幼稚園保姆 和田 くら

私はいつも數多き幼な子の仲間入をして日々楽しく月日を送つて居ります。此等の仲間の中には特に智能の優れて居るのもあれば、之に反して劣つて居るのもあり、又一種異なる性癖を供へて居るものもあります。茲に申上りますのは、此最後に記しました異常兒の取扱上につき、少しく感じました事の一ふしを申上げて、愛讀諸姉の御批評を願ひたいと存じます。

問題となる子供は唯今六歳、最早三三ヶ月にし

て小學校に入る豫定でございます。扱此兒は満四歳にして入園致しましたが、其當時他兒と異なる所は剛情なる上に、共同心に乏しきこと、即ち友と遊ぶを好まぬこと、談話を聞くのも嫌ふこと、衆兒沈黙の場合之を破りて興がること、入りては絶えず動搖して止まず、出でゝは危険なる遊のみを好み、制せんとすれば大聲を發して逃れ、其他故意に悪戯をなし誠しめらるゝ時は、一種奇なる顔付をなし他事に紛らさんと何事かを語り始めます。

先づ當兒につき注意した事は柔順の徳を養はしむる事で、最初はなかく困難でしたが、命ずる事を極々少なくし一旦命じたる時は必らず之を實行なさしめ、守りたる曉にはほめてやる様にして見ました。又悪戯をなした時は命令的でなく勸告的に注意する様にして見ましたが、遂には之を守る様になりました。時には手に合はぬ事があつて、叱責することもあります、斯る場合には必らず

反抗的態度を取り勞して効なき事がございます。尤も其方法宜しきを得ぬからでもございませう。其故いつも訓戒する場合には靜に云ひ聞かせる様にして居りましたが、此頃は他兒に比し左程の事もなくなりました。之れ一は年齢の爲でもございませうが多少は幼稚園保育も關係して居ることゝ存じます。

假令幼少なりとも惡徳は決して假借せず嫩の裡に其萌芽を摘み去らなければなりません、除却する方法に付ては寧ろ積極的の法を取るのが宜しかと存じます。

右は極く小さい所感でございますが、どうか皆様御教示を願ひ度う存じます。

剛情の子に、命令を嚴にして、其の代り命令の數を少くするといふことは、此の上のない靈藥です。命令を嚴にする方だけを用ゐて、少なくする方を用ゐない時は、藥が却つて悪く効いて、害のあることが多いのです。すべて子供の教育方法が積極的でなければならぬことは申す迄もないのですが、此の子供の如き共同心の乏しい方の性質のものに對しては、特にさうです。共同心といふ中に屬するいろ／＼の生活は、す

べて積極的美性を具へたものです。かうしなければいけないと言つて責めた處で、叱つた處で、決して眞に其の性質が生れ出るものではありません。此の子に對してとられた積極主義に對して、全幅の賛同の意を表せざるを得ません。

○落ちつかない子

京都市生祥 幼稚園保母 姫宮うめの

個性と申しまして心理學上より見た嚴格の意味では無しに、唯普通申します一寸した性癖で、しかも其は其儘にして置いては一生其兒が不幸であらう、と云ふ考へから注意致しました事が一つ二つあります。尤も是などは比較的強く表はれたので、全く低能として取扱つたのです。或男兒で年齢は此四月で既に學齡に達して居るのですが、特に保護者から、智力が少し遅れて居る故、との依頼で、預つたのでございます。

外から見ました處、即ち身體的方面では別に他の同年兒と異つて居る點を見出させぬ。唯足許